

「錦川の水を育む森林づくり交流会」を開催しました

令和4年11月26日(土曜日)に、岩国市の城山国有林(横山)において、利水企業等を対象に「錦川の水を育む森林づくり交流会」(主催:岩国農林水産事務所、柳井農林水産事務所)を実施しました。

この活動は、企業活動に欠かせない工業用水の源となる森林の「水源かん養機能」や「地球温暖化防止機能」などについて理解を深めてもらうことを目的に実施したもので、岩国・柳井地区の工業用水利用企業を中心に9社35名が参加しました。参加者は、森林整備の作業場である20年生のヒノキ林にて、県指導林業士の森重さんらから枝打ちの意義や方法について実演指導を受けた後、ノコギリを使って森林整備を行いました。

1時間ほど枝打ちを行い、参加者は森林整備の必要性を実感した様子でした。

岩国・柳井農林水産事務所では、今後も企業や県民との協働による豊かな森林づくりに取り組んでいくこととしています。



森林整備の様子



集合写真